

平成24年4月27日

公益財団法人ヤマト福祉財団

福島県より感謝状をいただきました

4月24日、福島県庁知事室において、福島県 佐藤雄平 知事より公益財団法人ヤマト福祉財団に感謝状が贈られました。席上、佐藤知事より「「福島県は地震、津波の自然災害、原子力災害、風評被害の多重被害からの復興に向けて歩き出す中で、ヤマト福祉財団様の助成は、特に国の補助の行き届かない産業、生活基盤の再建に向けて大きな力となり、そのスピーディーな対応には心よりの感謝と敬意を表します。」との謝辞をいただきました。



感謝状を手にする佐藤知事（右）と神田常務取締役

福島県 第1次～第5次助成一覧

助成時期	申請団体	事業名	助成額 (単位千円)	事業内容
第1次	特定非営利活動法人 よつくらぶ	よつくら港地域振興施設 「交流館」復興事業	180,000	いわき市四倉漁港の道の駅で、地域の農水産物の販売と地域情報の発信基地として年間60万人以上の多くの人びとが利用する施設の改築費用を助成する。
第1次	財団法人 ふくしま海洋科学館	「アクアマリンふくしま」 熱源設備改修事業	80,000	年間100万人が利用する地域観光の中心拠点である、いわき市小名浜の「アクアマリンふくしま水族館」の基幹設備である水槽温度管理の熱源設備の改修費用を助成する。
第1次	すかがわ岩瀬 農業協同組合	農業生産再生事業	255,000	被災した6箇所農業倉庫を1箇所に集約・再編することで地域農業の復興再生を図るため、改修費用を助成する。
第2次	相馬市	相馬港海上コンテナ 物流基盤整備事業	103,000	応急復旧した代替岸壁での海上コンテナ物流用の代替クレーン及び集積機材(リーチスタッカー)の整備費用を助成する。
第3次	川内村	川内村高原農産物 栽培工場建設事業	300,000	緊急避難準備区域が解除され、帰還後の新たな農業再生のため、安全できれいな地下水を利用した、水耕栽培工場の建設費用を助成する。
第4次	相双に新しい精神科 医療保険 福祉システムを作る会	相馬広域こころのケアセン ター:なごみの新設事業	30,000	相馬市、新地町、南相馬市の精神科医療の拠点となる「相馬広域こころのケアセンター:なごみ」の整備及び運営費用を助成する。
第4次	相馬市	農地復旧復興(純国産大豆) プロジェクト	300,000	津波により被災した農地を復旧し、新たな農業経営(大豆の生産・加工・販売)に取り組む農業法人が使用する農業機器類を購入する費用を助成する。流失した保育所を安全な高台に再建する費用を助成する。
第4次	東西しらかわ 農業協同組合	地域農業再生基幹施設 緊急整備事業	270,000	被災した5箇所の農業倉庫を2箇所に集約、再編することで地域農業の復興再生を図るための建設費用を助成する。
第5次	公立小野町 地方総合病院企業団	公立小野町 地方総合病院整備事業	2,000,000	地域医療復興の為、小野町、田村市、平田村、川内村、いわき市を構成市町村とする地域唯一の総合病院の被災した、倒壊の危険性のある旧館の建て替え費用を助成する。
第5次	福島県厚生農業 協同組合連合会	鹿島厚生病院併設 介護老人保健施設 厚寿苑の新設事業	1,000,000	被災により大幅低下した高齢者保健医療、福祉機能の復旧に必要な病院併設の介護老人保健施設の新設費用を助成する。
第5次	楢葉町	仮設校舎敷地造成工事 仮設校舎設置事業	191,000	臨時休業措置となっている2小学校、1中学校の本格再開前に、避難地いわき市で仮設校舎による授業再開のため、2年間使用の仮設校舎建設費用を助成する。
第5次	緑地創造研究会	福島県立自然公園 松川浦周辺の 海岸防災林再生事業	130,000	津波で流失した海岸防災林を、盛土による築堤の海岸防災林に再生するために、必要な樹木の地域性を考慮した「地域苗木」の育成と供給をする費用を助成する。
12件	助成額合計	48億3900万円	4,839,000	